

入場無料
事前申込制



鈴木 まもる さん すとう あさえ さん



東日本大震災直後、物流が途絶え、福島では生活していくための燃料が途絶えました。そのとき、いつもは走ることのない磐越西線にディーゼル機関車を走らせ、燃料を届けてくれた人たちがいました。

絵本『はしれディーゼルきかんしゃデーデ』は、このディーゼル機関車がモデルとなりました。

震災から12年目、また令和3年2月と令和4年3月に発生した福島県沖地震を乗り越えた福島県立図書館において、デーデの作者、すとうあさえさんと鈴木まもるさんによる講演会を開催します。

～東日本大震災から12年、福島の子どもたちに伝えたい絵本～

『はしれディーゼルきかんしゃデーデ講演会』

《日時》令和5年2月25日(土) 12:50～16:10(12:20開場)

《場所》福島県立図書館 講堂

《申込み・問合せ》福島県立図書館 024-535-3220

先着 120名 ※お申込みが必要です。

《主催》福島県立図書館・児童図書館研究会福島支部 《協力》童心社

《協賛》JBBY 希望プロジェクト(日本国際児童図書評議会)

※マスクの着用や手指の消毒をお願いします。

プログラム

12:50 開会

13:00-13:10 朗読 『はしれディーゼルきかんしゃデーデ』 すとう あさえ さん

13:10-14:20 講演 「デーデとともに12年～いま、私が思うこと」 すとう あさえ さん

14:20-14:35 質問コーナー

(休憩 10分)

14:45-15:55 講演 「絵本と鳥の巣とデーデのこと」 鈴木 まもる さん

15:55-16:10 質問コーナー

16:10 閉会